

## 「岡山ペパーランド ライブレポート」

Text by 三文楽士

Live Report

kashi no kai

今回はかしぶちさんの岡山ライブに行ってきました。オープニングに架空楽団が出るのでどんなライブになるのか楽しみでした。リハーサルの関係で開演が遅れていましたが、お客さんが退屈しないように、黒瀬さん編集のライダーズのライブビデオがモノクロで映されていました。フジTVでのスタジオライブ、青空百景、ソリトンライブ、リハーサル風景といった珍しいものが多かったです。しかも、BGMはかしぶちさんのインスト曲(主にサントラ)で、休憩中もずっと流されていました。ステージにはなぜかドラムセットが2台・・・何かが起こる予感・・・

ついに開演！登場したのは架空楽団。今回は6人だけの男性陣編成です。フロントの3人(山田、黒瀬、石原氏のお三方)はライダーズがニューウェーブ時代によくやっていたヘルメット姿で登場。片島デンカ(Dr)、国平さん(Tp)、廣岡さん(Key)がバックを固めます。おなじみの「ビデオボーイ」からスタート。いつもの架空楽団の感じと違って、骨太のサウンドを聞かせてくれました。続いてこれもおなじみの「Y・B・J」そしてライダーズでももはや聴くことのない「グルーピーに気をつける」のパンクバージョン、最後は今月シングルが出る「Sweet Bitter Candy」を石原さんのボーカル、ギターで演奏していました。東京公演と違ってバンドでやっていました。女性を入れた10人以上のフル架空楽団もゴージャスでいいですが、男だけのミニ架空楽団もバンドの原点に戻った感じの濃いサウンドもいいですよ。それに地元のせいも、すごくリラックスして演奏していたようでとても楽しめました。

休憩中にはフランス映画風の映像やリハーサル風景のビデオが流れていましたが、映画風の方は、かしぶちさんが以前撮ったものだということで驚きました。すごく感じがでていてよかったです。

いよいよ、かしぶちさんがキーボードの板倉さんと共に登場。

1曲目はなんと、石川セリさんのへ提供曲「マルチネ」。まさか、誰もこの曲から始めるとは思わなかったでしょう。次に「FrouFrou」そして、ソロから「柔らかいポーズ」。かしぶちワールドに突入、みたいな感じですね。

提供曲から2曲、岡田有希子さんの「愛のコロニー」(似ている出だしたかったので「Love Fair」かと思いました。)次に、なんとGlobeのマーク(モデル時代で、4、5年前の曲)の「リベルテ」。多分、TK関係のファンでも知らないと思うよ。余談ですが、かしぶちさんも実はTKなんですね(笑)。

ここで、TokyoRose の上田さん（意外と背が高く、黒いドレスを着ていました。なかなかの美人な方です）が登場。5年くらい前のソロアルバム「Fin」より、「オブジェの花」「エゴイスト」「恋のためらい」の3曲をデュエットしました。MCで「3曲ともかなりエッチな曲で、みなさんそれに耐えられるかな？」と笑いを誘いました。

かしぶちさんは、板倉さんのキーボードに座って、「S.E.X」と「砂丘」をひとりで唄います。「砂丘」はいつ聞いても名曲だとつくづく思った次第です。もっとキーボードの弾き語りがあったな。

さあ、お待ちかねの岡山でしか見れない特別なメニュー、第一弾！TokyoRose で、2,3日前にできたという新曲、「BirthVision」(上田さん作詞、板倉さん作曲)。ここでは、かしぶちさんがドラムを演奏していました。上田さんの民謡で鍛えたこぶしの声と、アジアっぽい板倉さんの曲の不思議にマッチしてて、TokyoRose の新たなる世界が見え、今後の活動が期待されます。次に上田さんのボーカルで「花のイマージュ」(岡田有希子さんの他界でお蔵入りになった名曲。是非再発を！)

上田さんが退場して、板倉さんと二人で「DeuxCiel」、そして10年ぶりにボーカルを入れた「クリニカ」。クリニカは鳥のさえずりや音色など、板倉さんひとりですいぶんCDに近い感じを出していました。

特別メニュー第二弾は、架空楽団をバックに東京公演でもやった、かしぶちボーカルによる「プラトーの日々」、山田さんとデュエットで、ぱいの曲「釣り糸」、そして自作以外のライダーズ曲で、かしぶちさんのフェバリットを唄うという企画(黒瀬さんの発案らしい)でなんと「青空のマリー」！。ほかのメンバーの曲を歌うのは初めてかと思います。

再び、板倉さんが登場して、月面讃歌ツアーやっていないライダーズの新曲、「君には宇宙船がある」「服を脱いで、僕のために」を演奏。「服を脱いで・・・」は慶一さんより、かしぶちさんが歌った方が合うような気がします。

クライマックスに近づくとつれて、「バックシート」「リラのホテル」。重厚なキーボードサウンドで盛り上がりました。

再び上田さんが加わり、ライダーズでもあまりやらない「OK パ・ド・ドウ」。サビのところはお客さん全員の合唱となりました。ラストはかしぶちさん一人で「BeepBeep Be オーライ」。アップテンポのライダーズ Ver.と違って、バラードみたいにしんみりと歌っていました。

アンコールで、かしぶちさんが客席にリクエストを求めたところ、「紡ぎ歌」との声に「・・・今のはなかったことに」(場内爆笑)

リクエストの話はどこかに消えて(笑)、ドノヴァンの「火曜日ならベルギーよ」のカバー、次に上田さんがシルビーバルタンの「アイドルを探せ」を歌いました。

次は、またまた架空楽団と一緒に「スカーレットの誓い」。もう全員大合唱!黒瀬さんの「かしぶちさんのドラムが聴きたくないかい?」の呼びかけに場内大歓声!かしぶちさん、うれしそうにドラムセットへ!架空の片島デンカとツインドラムで「Happy/Blue'95」(シングルバージョン)!

そして最後は板倉さんと上田さんも入って「ひまわり」。この曲のラストのところで、再びドラムに座り、超珍しいドラムソロ披露!今までだれも見なかったような、長くエキサイティングなドラミング!かっこよすぎる!デンカにもまわしてもうドラムバトル!そしてあのコーラス部分にもどって盛り上がりのエンディング。この粋なアレンジは黒瀬さんの仕掛けたものだそうです。こんなのどこにいても見られないよね!

アンコールが終わってもまだまだ熱いお客さんの要望に答え、再びかしぶちさんがステージに登場。しばし壇上で選曲の相談。石原さんの「BEATITUDE」では?という意見に黒瀬さんが、やはりかしぶちさんの曲の方が・・・と話し合っているとき、かしぶちさんが

「オレ、ドラム叩きたいんだよ!」

この一言で「BEATITUDE」に決定!歌詞のあやしい山田さんなど無関係に(笑)場内は割れんばかりの大合唱!!まだまだなり止まぬ拍手の中、3時間以上に及ぶ怒濤のライブが終了しました。

このあと、同じ会場でかしぶちさん、板倉さん、上田さん、架空楽団の皆さん、そしてお客様と一緒に(30人以上いたなあ)盛大に打ち上げ。石原さんのギターで、みんなでライダーズ曲を歌いまくり。ライダーズ友だちもいっぱい増えました。最後にかしぶちさんも「D/P」を唄って下さいました。

最後になりますが、至れり尽くせりのサービス精神でもてなされて、しかもこんなに多くの曲が聴けて(30曲!)、TokyoRose や架空楽団も観られて、打ち上げに参加できて、もう何も言う事はありません。幸せでした。大阪で、あがたさんのライブとダブったのは惜しかったですねー。かしぶちさんの方には、山本精一さんが出るということだったし本当に悩みました。(結局、行ったのはあがたさん。かしぶちさんすみません!)

また来年!ということなので、再び岡山スペシャルを期待しています!ありがとうございました!

HP掲載に当たりオリジナル原稿より改行位置変更させて頂きました。  
(櫻の会 KRAFT.WARTZ)